

「さあ ひながたに学ぼう」

〈ことばづかい〉

プログラムのねらい

陽気ぐらしのための道具としてお与えいただいた「言葉」のつかいかたを教祖のひながたから学ぶとともに、人を喜ばせ、勇ませるよい言葉がけに努めて、幸せの元を築く日常生活をめざす。

- 「言葉」の“力”に気づく
- 自分の「言葉」のつかいかたをふりかえる
- ひながたから、教えに基づく理想的な「言葉」のつかいかたを学ぶ
- 人を喜ばせ、勇ませるよい言葉がけを実行する心を定める

プログラムの構成

		時間配分
《導入（起）》	《自己紹介》 自己紹介・他己紹介	10分
	《アイスブレイク》「ある冬の日、次の動作は？」	5分
《気づき（承）》	《本読み》 テキスト「ことばづかい」	5分
	《演習》 言葉一つで変わります。あなたはどっち？	10分
	《おはなし》 言葉の力、言葉のつかいかた	10分
《学習（転）》	《おしゃべりタイム》励まされた言葉・言ってしまった後悔した言葉	15分
	《おしゃべりタイム》全体発表	15分
	《本読み》 テキスト「ことばづかい」	5分
《結び（結）》	《おはなし》 まとめ	20分
	《おしゃべりタイム》講座のふりかえり	20分

(1 時間 55 分)

※開会、閉会、つなぎの司会時間を含まないプログラム正味の時間

各項目の時間は目安です。当日の流れ、実情に応じて調整してください

準備物品

- テキスト「ことばづかい」（布教二課にて受渡し）
- ふりかえり用紙（巻末に添付。コピーして使用）

プログラム進行表

時間	単位	プログラム 進め方と内容	ポイント (コメント)	ねらい・方向性
5分		開会 親神様、教祖、祖霊様遥拝 オリエンテーション 講師・スタッフ (会場、ねりあい 司会者、総合司会者) 紹介 テキスト紹介 講座のねらい など テキストは指示があるまで開か ないことを促す ※受講者とスタッフで作る上げる 講座であるので協力を呼びかけ る	※ケイタイ、講座時間、 WC 、お茶、タバコ、子 連れの場合の対応、足の 不自由な方のイスなどを 説明します。 ねりあい参加ヒントなど と併せて印刷し、開会ま で読んでもらうのもよい でしょう。	○手短かに。 ○要領よく説 明。 ポイントをあら じめメモをし ておくとよい。
	司会	私たちは「言葉」によって他者とコミュニケーションをはかっています。 家族と交わす何気ない会話。友だちと交わす楽しい会話。あるいは、仕事などで ちよつと緊張感を持って交わすような会話。あらゆる場面でいろいろな言葉を使 って暮らしています。 そんな日常の中で、何か力を与えてくれるような一言に出合った、あるいは何気 ない一言で思わぬ経験をした、ということはないでしょうか。 今日は私たちが常日頃使っている「言葉」のつかいかたを、教祖のひながたに照 らしながら学んでみたいと思います。		
5分	少数	〈自己紹介〉 自己紹介 ①2人一組になります ②先手・後手を決めます ③先手が自己紹介をします ※自分のいいところや得意なことなど、積極的に売り込みます ※後手 (聞き手) は相手の話を聞きながらじっくりと観察します ④役割を交代し、同じように自己紹介 します	目の前には今日一緒に過 ぎす仲間がおられます。 はじめに、2人組になっ て自己紹介をしてくださ い。自分の売り込みと相 手の観察をお願いします。	

5分	少数	<p>〈自己紹介〉 他己紹介 ①自己紹介をした 2 人隣同士に座りグループになります ②1 ペアずつ、お互いを他のメンバーに紹介し合います ※聞いたことや観察して「素敵だな」と思ったことを交えて紹介します ③同じようにグループ内の全ペアが紹介します</p>	<p>次にペアになった人のことをグループの他の人たちに紹介してあげてください。 そのとき、ペアの人の「素敵だな」と思ったところも合わせて紹介してください。 ※ 姿や雰囲気など</p>	
	司会	<p>ありがとうございました。自己紹介、他己紹介でグループのみなさんの雰囲気がわかればよかったかなと思います。 それでは、そんな素敵なみなさんと講座をすすめていきましょう。</p>		
5分	全体	<p>〈アイスブレイク〉 「ある冬の日、次の動作は？」 ○総合司会者のコメントにしたがってイメージされる動作をおこないます</p>	<p>まずみなさんに頭と身体を使って表現してもらいたいと思います。 今から私が状況を説明します。「さあ、どうぞ」と言ったら、すぐリアクションをしてください。リアクションとは、次にとる動作のことです。 ① ある冬の日、冷たい雪を触っていたら、手がジンジンと、かじかんで来ました。手を暖めます。 「さあ、どうぞ」 ② やっと家に着きました。玄関に入ります。そこは暖かい家の中です。ホッと一息。 「さあ、どうぞ」 ③ 家族が熱いお茶を持ってきてくれました。う</p>	<p>○夏季の講座では、冬をイメージしてもらえよう、ひとことコメントをはきみましょう。</p>

			<p>れしい一息。 「さあ、どうぞ」 ④ところが湯飲みが熱くて持てません。お茶を冷ましましょう。 「さあ、どうぞ」 ⑤冷えた体を温めるため、あつーいお茶をすすります。幸せの瞬間 「さあ、どうぞ」</p>	
	司会	<p>いかがでしたか？寒い冬の日を体験していただきました。 今の動作の中で、かじかんだ手に「はあ」と息をかけた方おられましたね。また、熱いお茶に「ふー」と息をかけられた方もおられました。 私は何を言いたいのでしょうか？ 答えは、次のテキストに書いてあります。</p>		
5分	全体	<p>〈本読み〉 P1「不思議な力の使い方」 全員で声をだしてゆっくり読む</p>	<p>では、テキストを読んでみましょう。 大きな声でお願いします。</p>	<p>○ゆっくり読むよう指導する。</p>
	司会	<p>言葉には不思議な力があるようですね。しかもその力をよく使ったり悪く使ったり、使い分けるのは私たち自身のです。 そこで、ちょっとした演習をしてみて、実感してみましよう。</p>		
10分	少数	<p>〈演習〉 言葉一つで変わります。あなたはどっち？ ①2人一組になります ②テキストP2・P3を開きます ③じゃんけんをします ④勝った人が、負けた人にテキスト中の⑧のセリフを言ってみます ⑤負けた人は感じ方、印象の違いを伝えます ⑥役割を交代し、負けた人が、勝った人にテキスト中の⑨のセリフを言ってみます ⑦勝った人は感じ方、印象の違いを伝えます</p>	<p>もう一度2人一組になってください。そして、テキストP2～P3をお開きください。 じゃんけんに勝った方は、⑧のセリフを、右左二つとも、負けた方に言ってみてください。 負けた方は、感じ方にどういう違いがあるか、言ってみてください。 次は、役割を変えて、負けた方が、⑨のセリフを両方とも、勝った方に言</p>	

			<p>ってみてください。勝った方は、感じ方にどういう違いがあるでしょうか？</p>	
	司会	<p>いかがでしたか？同じ人に対してでも、言い方や態度によってこんなにも感じが変わるのですね。 これらの違いはどこからくるのでしょうか？ 講師のお話を聞いてみましょう。</p>		
10分	全体	<p>〈おはなし〉 人を生かす言葉、殺す言葉。言葉づかいによって言葉に 2 面性が生まれる。 言葉は使う人の心を表す。</p>	<p>○演習をふまえて話します</p>	
	司会	<p>ありがとうございました。 私たちは日常、言葉の持つ特性に気づいて言葉を使っているでしょうか？</p>		
15分	少数	<p>〈おしゃべりタイム〉 「励まされた言葉」 「言ってしまうって後悔した言葉」</p>	<p>ここで少しみなさんで話し合ってみましょう。 ちょっと思い出してみてください。1 つは「励まされた言葉」。もう 1 つは「言ってしまうって後悔した言葉」。 話し合いの中で出てくる言葉を聞きながら、自分はふだんの生活でどのくらいこれらの言葉を使っているかを思い返したり、他の人のお話を聞いて自分の言葉づかいをチェックしてみましょう。 それでは、ねりあい司会の方、よろしくお願ひします。</p>	

	司会	<p>いろいろなお話が出たようですね。 他の班のお話はどんなだったでしょうか。ちょっとうかがってみましょう。</p>		
15分	全体	<p>〈全体発表〉 「励まされた言葉」 「言ってしまっ後悔した言葉」</p>	<p>それでは各グループから (司会の方/代表者を選んで)発表してください。 他のグループの発表にも 配慮して、要点をまとめてお願いします。</p>	<p>○各班の司会者から発表する、参加者から代表を選ぶなど、雰囲気やプログラムの進行状況などを考慮して方法を考える ○重複する意見を避けるなど発表方法の工夫を</p>
	司会	<p>いろいろなお話を聞かせていただきました。 言っ後悔した言葉を聞いていると、私自身も思い当たることが多々あり反省させられました。それはさておいて、励まされた言葉を聞いていると、本当に何かうれしさや力が込み上げてきます。 考えてみると、人が喜ぶ言葉には、明るくいいきとした素敵な力があるように感じます。 みなさんはいかがですか？毎日がこんな楽しく、明るく、いきいきと過ごすことができたらいいですね。言葉づかい一つでそれも実現できるのではないのでしょうか。 そんなことを思いながら、テキストをゆっくり、ていねいに読んでみましょう。</p>		
5分	全体	<p>〈本読み〉 P9「逸話篇 137 言葉一つ」 講師に合わせて、全体で声をだして読む</p>	<p>※グループ内で声を出して読んでもよい</p>	<p>○ゆっくり読むように指導する。</p>
	司会	<p>みなさん、いかがでしたか？今の逸話篇を深くかみしめると、いろいろな感想が出てくると思います。講師はどう考えているのか。お話を聞いてみましょう。</p>		
20分	全体	<p>〈まとめのおはなし〉 相手を思いやる言葉づかいは、よい人間関係を築く。 言葉は親神様から人間だけにお与えいただいた陽気ぐらしをするための道具。道具の使い方を常にひな</p>		

		<p>がたから学んで、よい使い方をしていこう。</p> <p>そこには人の治まり、家庭の治まり、陽気なくらしへのスタートがある。</p>		
	司会	<p>ありがとうございました。ここまでみなさんとの話し合い、テキストの音読、講師のおはなしを通して、教祖のお心に適う言葉づかいについて考えてきました。最後に、今日の講座をふりかえりましょう。今日の講座を受けて、それぞれに明日から、いや、今日帰ってから、私はこれを心がけてみようというように、ちょっとした心定めを考えてみてください。</p> <p>そしてグループの中で発表しあいましょう。せっかく今日一緒に学んだ仲間です。お互いに励まし合い、元気をもらって帰りましょう。</p>		
20分	少数	<p>〈おしゃべりタイム〉</p> <p>ふりかえり</p> <p>① 記入用紙（別紙）を配ります</p> <p>② 記入ができたならグループ内で一人ずつ順番に発表します</p> <p>※この用紙は回収しない旨伝えます</p> <p>③ 自由に話します</p>	<p>今日の講座をふりかえって、今の気持ちを率直に書いてみてください。</p> <p>（書くのが難しい年齢の方が多い場合、無理に記入する必要はありません。自由に、今の講師のお話について、感じたことを発表し合いましょう）</p> <p>みんなが書き終えたらグループの中で発表してください。</p> <p>項目ごとに一回りずつ、順番に発表してください。</p> <p>全部済んだら今日の感想や気持ちを自由に話してください。</p> <p>それでは、司会の方、よろしくお祈いします。</p>	<p>○教えに基づく生き方、生活を送るよう呼びかける。</p>
	司会	<p>ありがとうございました。今日の講座はいかがでしたか？</p> <p>今日お配りしたテキストはどうぞおみやげにお持ち帰りください。</p> <p>そのテキストの中には、みなさんの日常生活に役立つ言葉づかいについてのヒントがまだまだたくさん載っています。</p>		

	ぜひ参考にしていただき、素敵な毎日をお過ごしくださることを願って、本日はこれで終了いたします。 ありがとうございました。		
5分	閉会 親神様、教祖、祖霊様遥拝		

